

令和5年度 教育計画						学校番号 229	
伊方町立三崎中学校							
校長名	野村 雅英	学級数	4 ( 1 )	生徒数	17	教職員数	10

【 教育目標 】

個性のはっきりした教養ある国際的日本人の育成

【 校訓 】

正しく やさしく よくはたらく  
個性のはっきりした教養ある国際的日本人になろう

【 目指す生徒像 】

『正しく』 礼儀正しく、公正な判断 ができる生徒	『やさしく』 自分を大切にし、他を思 いやることのできる生徒	『よくはたらく』 進んで一生懸命に取り 組むことのできる生徒
--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

【 重 点 事 項 】

今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校  
～ 5カン（感動・感謝・感性・関係・関心）を大事にした 活気あふれる学校 ～

<b>【確かな学力】</b> ① 基礎・基本の確実な定着 ② 学習意欲・表現力の向上 ③ ICT 機器の効果的な活用と 個に応じた指導の工夫	<b>【豊かな心】</b> ① 明るい挨拶の励行 ② ふるさと教育の推進、気仙 沼市立大谷中との交流 ③ 芸術・文化体験学習の充実	<b>【健やかな体】</b> ① 体験学習・交流活動の充実 ② 緑の少年隊・JRC 活動の充 実 ③ 部活動の充実
------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

**学 校**  
生きる力を育む

<b>家 庭</b> 基本的な生活習慣、心の安らぎ	<b>地 域</b> 地域に学び、地域で育つ
------------------------------	---------------------------

① 積極的な情報発信・共有  
② 保・小・中・高校間の交流・連携強化  
③ 地域行事への積極的参加

<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<p><b>I 個に応じた学習指導の充実と確かな学力の定着</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒一人一人の個性や能力に応じた指導方法を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。</li> <li>2 ICT機器を積極的に活用し、対話的で探究的な学習を取り入れながら、楽しく、分かる授業の実践に努め、生徒の学習意欲の喚起を図る。</li> <li>3 家庭と連携し、望ましい家庭学習習慣の定着を図り、学力の向上に努める。</li> </ol> <p><b>II 生徒の心を揺さぶる生徒指導、特別支援教育、人権・同和教育の充実</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 道徳科の授業や生徒指導の充実努め、互いに認め合い、戒め合い、支え合う望ましい人間関係づくり、温かい集団づくりに努める。</li> <li>2 心の通い合う学級経営に努め、元気な挨拶、気持ちのよい返事を奨励し、前向きな態度を育て、活力ある学校づくりに努める。</li> <li>3 部活動の充実努め、強い体とあきらめない心を育て、健康な生徒の育成に努める。</li> </ol> <p><b>III 地域や関係諸機関との連携を図り、地域になくてはならない学校づくり</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ふるさとの魅力に気付き、地域に学び、地域で育つために、地域の人材、教材を積極的に活用した、「ふるさと三崎」の学習に努める。</li> <li>2 地域で一つの中学校として、保・小・高との連携を密にし、地域行事に積極的に関わるとともに、社会奉仕体験活動や自然体験活動の充実努める。</li> <li>3 地域支援ボランティアを活用し、地域の人や諸団体との交流を深め、地域社会の一員としての自覚を高める。</li> <li>4 ジョブチャレンジU-15 事業を地域の協力団体と行ったり、総合的な学習の時間で地域産業や伝統・文化を調べたりすることにより、ふるさとを愛する心情を高める。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<p><b>【人的管理】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育公務員として、自らの使命と責任を自覚し、綱紀の保持に努め、全力で職務を遂行する精神を培う。</li> <li>2 部活動顧問の複数配置など、教職員の負担軽減を図り、心身の健康状態を良好にし、自己の能力を最大限に発揮できる活気があり、温かく、風通しのよい職場づくりに努める。</li> </ol> <p><b>【物的管理】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設・設備の定期的な安全点検に努め、潜在的危険箇所の早期発見に努める。</li> <li>2 取扱いに危険を伴う道具や理科備品、薬品・劇薬の適正な保存・管理に努める。</li> <li>3 危機管理マニュアルの見直し・活用を通して、自然災害や火災等の実践的な研修や訓練に努め、教職員一人一人の危機管理意識・危機管理能力の向上を図る。</li> </ol> <p><b>【事務管理】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 伊方町共同学校事務室との連携を密にし、適切な公文書の処理・管理や諸帳簿の整理・保管に努める。</li> <li>2 予算の適切な執行を行うとともに、諸会計の厳正な出納と管理に努める。</li> <li>3 個人情報の適切な取り扱いに留意し、校務支援システムやホームページの積極的な活用を図る。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 気仙沼市立大谷中学校との交流を、東北地方太平洋沖地震の頃より続けている。今年度も「さつまいもプロジェクト」と題し、キャリア教育とタイアップし、交流を行う。</li> <li>2 地域に一つの保育所、小学校、中学校、高校である利点を生かし、3年前より合同で避難訓練を行っている。今年度は更に高校との交流を深める。</li> <li>3 県内でも早くからICT機器一人一台端末の整備、導入を行い、ICT先進地域として授業や家庭学習、他校との交流で積極的に活用している。</li> <li>4 町内は小規模校が多いため、他校と自然体験活動や修学旅行等の学校行事で交流したり、ICT機器を利用した対話的な授業での交流を実践したりしている。</li> </ol>